

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第1回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成29年6月13日(火) 16時30分 開会 17時30分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ会議室2
出 席 者 氏 名	【本部会議委員】 横山委員、山野寺委員、石川委員、田村委員、佐々木委員、 村田委員、水島委員
欠 席 者 氏 名	信太委員、端委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、小室政策主幹、森久保計画担当主査、
議 題	1 美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について 2 今後について 3 その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	・美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告 ・スケジュール
会議録の作成方針	☐ 録音テープを使用した全部記録
	☒ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	定刻になりましたので、平成29年度第1回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催します。 本年度に入りまして6月になりましたが第1回目ということで皆さまよろしくをお願いします。 本日の会議は信太委員と端委員から欠席の報告をいただいています。また、会議に入る前に、委員の変更がありましたので私から紹介させていただきますので、一言ずつをお願いします。 まずは、美幌町農業協同組合より城室長に代わりまして、山野寺室長に委員を務めていただくことになりました。山野寺委員、一言をお願いします。
山野寺委員	ご紹介いただきました山野寺と申します。4月1日の異動によりこの職に就かせていただいています。よろしくお願いします。
横山会長	続きまして、もう一名、網走信用金庫美幌支店より吉江支店長に代わりまして、佐々木支店長が今回から委員を務めてくださいます。佐々木委員、一言をお願いします。
佐々木委員	網走信用金庫の佐々木でございます。日頃よりご愛顧いただきましてありがとうございます。本日より、美幌町でのまち・ひと・しごと創生推進委員ということで、微力ながら様々協議していききたいと思います。前任は女満別におりまして、その時にもまち・ひと・しごとの委員になっておりました。同じような力が発揮できるか分かりませんが、意見などを言い、また言っていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
横山会長	それでは、新しい委員の紹介をさせていただきましたが、改めて引き続き務めている委員の自己紹介をしていきたいと思います。 この会議が出来ましてから、会長を務めさせていただいています商工会議所専務の横山と申します。今後ともよろしくお願いします。
水島副会長	副会長を務めさせていただいています水島と申します。一般の公募ということで、子育てなどの分野において意見などをさせていただいていますが、余力になれないかもしれませんが、どうぞよろしくお願いします。
石川委員	美幌町森林組合の石川と申します。当初からこの創生推進委員に選ばれてまして、昨年、この会を通じてFSCブランド化事業をやらせていただきまして、今年度は別の補助金になりますが、一層の推進のため、活用してやらせていただくことになっています。今後ともよろしくお願いします。
田村委員	美幌高校の田村と申します。美幌は2年目ということで、この推進委員も2年目になります。どうぞよろしくお願いします。
村田委員	美幌地区連合会から出ています村田です。役場OBで、連合の仕事に携わっていたので、連合会から推薦をいただきました。よろしくお願いします。
横山会長	本日はお休みでございますが、信太委員は美幌観光物産協会の事務局長、端委員は北海道新聞北見支社から委員として参画いただいています。では、事務局の方を総務部長から紹介をお願いします。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	総務部長の広島と申します。まち・ひと・しごと創生推進委員会ということで、今回6月の定例会において2名の議員の方から一般質問が出されているところであります。なかなか人口減少に歯止めが掛かっていない状況でありまして、息の長い取り組みをやっていく中で、是非とも結果を残していきたいと思っていますので、委員の皆さまの忌憚のない、また建設的な意見をいただいた中で事業を推進していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。 その他の事務局はそれぞれ自己紹介させていただきます。
小室政策主幹	政策主幹の小室と申します。昨年の4月に異動になりまして、今年が2年目の担当となります。昨年は初めての効果検証を行ったわけですが、我々の不手際によりなかなか進まなかったということがありましたので、その反省点を踏まえまして、今年は効果検証を踏まえまして、より良い政策を進めて参りたいと考えています。皆さまのお力添え、どうぞよろしくお願いいたします。
森久保計画担当主査	計画担当の森久保と申します。この推進委員会設置当初から担当しておりまして、今年で3年目になります。政策主幹も言っておりましたが、昨年はPDCAサイクルの推進が上手くいかず、委員の皆さまにはご迷惑をお掛けしましたが、これからも皆さまのお力添えをいただきまして、より良いものにしていきたいと思っていますので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。
横山会長	ありがとうございました。それでは、議事に入ります。美幌版総合戦略に基づく事業効果検証についてということで、事務局から説明をお願いします。
小室政策主幹	はい、新年度に入りまして初めての推進委員会ということでございます。前回の3月での会議やスケジュールでは4月又は5月中の開催をお伝えしていましたが、事務局含め、皆さまと都合が合わずに再調整させていただいた結果、本日6月の開催となりましたことをお詫び申し上げます。 先ほど、会長からお話がありましたが、4月に役場では大きな人事異動がありましたが、まち・ひと・しごとの事務局体制に変更はありませんので、引き続きよろしくお願いいたします。また、開催案内の文書の中に、ファイルをお渡しすると記載していましたが、本日は懇親会がありますので、次回の会議でお渡ししたいと思います。 それでは議題に入ります。「美幌版総合戦略に基づく事業効果検証」についてということで、資料を2枚お配りしています。1つは、前回会議の宿題として残っていた部分で、基本戦略3からいくつかの事業を抜粋したものです。もう一枚は、基本戦略1から1つの事業を抜粋したものです。 最初に、基本戦略3の抜粋した資料から進めたいと思います。抜粋した事業については、指標の設定方法が効果を測るには相応しくないとして、変更するよう委員の皆さまから意見が出ていたものでした。そこで担当である民生部と協議した結果、指標の内容を変更しましたので、報告します。 「妊婦一般健康診査費等補助事業」、「産後1ヶ月健康診査補助事業」及び「エンゼルサポート120事業」につきましては、以前は対象者となった人に対して、申請のし忘れなどないように、積極的に呼びかけるなどして、「対象者補助率」を100%にするというものを設定していましたが、しかし、これは100%にするのは当たり前だとして、設定に相応しくないの

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	ではないかと言うことで、協議した結果、人数設定に切り替えました。人数の設定については、原課としては、転居や転入がある上、妊娠により対象者となることから、人数の設定がしづらいため難しいと言っていました。が、予算要求時に設定した人数というものがありますので、それを元に、今までの実績率を考慮して設定しました。 また番号6の「医師確保対策事業」については、当初「常勤医師数」と設定していたのですが、基本戦略3は結婚や子育てに関する項目ですので、「小児科医・産婦人科医」という指標に変更しています。当面は小児科医と産婦人科医で2名を目指すということになっています。以上ご報告とさせていただきます。 続いて、基本戦略1が掲載されている資料をご覧ください。今回は、初めてのメンバーがいますので、検証の方法がよく分からないと思いますので、また、28年度は1つだけ国の交付金を活用した事業がありますので、この事業だけ先に検証を行いたいと思います。今回初参加の山野寺委員と佐々木委員におかれましては、今回でなんとなく検証の方法をこんなものかなと感じていただけたらと思います。なお、佐々木委員におかれましては、大空町の創生推進委員に所属していたとお聞きしていますので、そこのやり方の違いもあろうかと思いますが、そこも含めてご意見を賜りたいと思います。 今回検証を行う事業は、先ほど石川委員のお話にもありましたが、「森林認証材ブランド化推進事業」というものでして、28年度に国の地方創生加速化交付金を活用して事業を行いました。事業費は記載のあるとおり8百66万9千円で、全て国費となっています。事業内容は、簡単に申しますと、美幌町のFSC森林認証の木材を「コアドライ」という新たな乾燥技術を用いて建築材に仕立て上げ、町内だけでなく、道内、本州に向けて販路開拓を目指したことになります。今までの木材とどう違うのかという疑問があるかと思いますが、分かりやすい事例を用いて説明させていただきます。詳しいことは担当の森久保から説明いたします。
森久保計画担当主査	分かりやすいかなと思われるものを持ってきました。(木の鉛筆立て2つ提示) この2つの鉛筆立てですが、1つがコアドライ製品の端材、発止子の材で作ったもので、よく見ると違いが分かります。上から見るとその違いが顕著で、1つは3つの木材を貼り合わせて作られたもの、もう1つがそうした貼り合わせのない、一本の木材から作られたものです。この一本の木材から作られたものがコアドライ製品で、その下側を見ますと、木材の中心部が使われていることが分かります。これを柱として想像していただければと思います。今まで美幌町で建築材といえば、こうした貼り合わせる前の材を町外の工場に出して、1本の材にして、それを更に別の工場でカットをしてもらったものを美幌町に戻してもらって使っていました。そのため、その加工に係る費用、経済が町外に支払われていた状況でした。それが今回の新技術により、一本の材のまま建築材として使えるようになったので、町外に出す必要がなく、経済が町内で回るといった経済構造の変化が期待できる事業となっています。 この事業で、森林組合が技術指導などを受けて、無事コアドライ製品の技術認定を受けましたので、先ほども石川委員がおっしゃっていたように、今後、販路拡大に向けて、国の補助金を活用して森林組合で推進していくと聞いております。 指標値であるコアドライ材加工量及びモデルハウスの建築も達成し、事業効果はあったと原課は評価しています。事業費については、全て森林組

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	合への委託費として支払っていて、⑦の事業費内訳の箇所では、委託費とありまして、その内容についてはコアドライ技術の研究費、登録料、販路開拓のための東京での商談会、そのために必要な事務費や旅費などに使われています。 今後の方針としては、⑩の欄で、事業の継続となっていて、町から補助金を出すわけではないのですが、コアドライ材の普及に努めるとしています。
小室政策主幹	石川委員、補足ございますか。
石川委員	コアドライ材は柱材です。ただ今は管柱（くだばしら）（注：一階又は二階のその階にだけ入っている柱のこと）だけなんですね。しかし管柱だけではなかなか一つの家を造るには足りない。梁などの横架材まではこのコアドライは出来ていない。秋には横架材も出来る予定なので、これで家を一棟建てるのに必要な構造材が、全てコアドライできることになります。 このゴールデンウィークで、管柱は500本製造しました。大体2棟分はあろうかと思えます。半完成品にして、いつでも出荷できるように常備している状況です。皆さまの協力を得ながら、町内の住宅に使っていただくよう努めていきたいと思えます。 また、今のところはFSC材ですが、一般材でも行っていきたいと思っています。よろしくお願いします。
小室政策主幹	ありがとうございます。森久保から説明がありましたように、これは地域内経済循環が見込めるものとなっていて、ちょうど6月議会の一般質問においてもそのことに関連した質問が出されたところでして、この地域内経済循環は、経済の活性化だけでなく、将来的に雇用の創出などが見込めるものでありますので、地方創生の大きな効果となっているのかなと感じています。 以上が事業実施結果となっていて、委員の皆さまには⑨欄の「外部有識者からの評価」のところで審査していただきたいと思えます。この欄の左側「事業の評価」という箇所では、以前は、国の様式に準じて、「KPIの達成に有効であった」か「有効でなかった」かの2択でございましたが、委員の皆さまからご意見をいただきまして、今回はこの3択にさせていただきたいと思えます。この3つの中から最も適していると思われるものを皆さまに審議していただきたいと思えます。隣の右側「外部有識者からの意見」というところには、委員の皆さまからの意見をまとめて記載していきますので、ご意見やご提案をいただきたいと思えます。よろしくお願いします。
横山会長	事務局から説明があり、森林組合の石川委員からも補足説明をいただきました。これについて⑨の評価をしていくこととなりますが、皆さまの忌憚のない意見をお願いします。
石川委員	私からもう1つ付け加えさせていただきます。今、国の方に補助金の申請をしております、約9千5百万をかけて乾燥窯2基の導入を計画しています。それに伴い含水計の導入と設置場所の舗装も行います。28年度補正予算で内示をいただいています、もうすぐ着工となります。今現在は乾燥窯が1基しかなくて、それはコアドライとかではなく常時使用していますので、コアドライ製品には半月以上、梁ですと1ヶ月はかかるため、

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	他の製品が作れないことから、もう2基を導入することとなっています。これでなんとか、町内の住宅、あるいは町外、道外にも売っていこうという計画になっています。
石川委員	今のご説明も含めまして、皆さま意見などございませんか。このモデルハウス2棟分は、もう建っているのですか。
小室政策主幹	はい、建っていて入居しています。異なる時期に建てたものですから、見学会を行ったのは1棟だけです。2棟は山岸工務店と高橋工務店にお願いして建てました。管柱は全てコアドライ材です。
石川委員	建築主は一般の方ですか。
小室政策主幹	そうです。
石川委員	コアドライだと分かるようになっているのですか。
佐々木委員	1棟目の方は全て見えないようになっていますが、2棟目の方は1カ所だけ見えるようにしています。
石川委員	単価的には通常の柱と比べて高いのですか。
小室政策主幹	単価的には集成材、貼り合わせて作った柱と変わらないか、弱冠高いですね。時間が掛かることと、角に切って乾燥させてまた挽くので、歩留まりなど関係でそれほど安くはならない。しかし、集成材の場合は糊に使われる薬品などの悪影響や強度の面でどうなのかというものがありますが、コアドライはその点無垢材になりますので、安心です。
石川委員	モデル住宅以外でこの材を使った住宅は建てられていますか。
横山会長	今後2棟分建てる予定です。ただ、コアドライの梁がまだ出来ていないので、完成は11月か12月か、もしくは年内は難しいかもしれません。
佐々木委員	佐々木委員、何かございますか。
森久保計画担当主査	これは、評価としては①の効果があったということだと思います。意見としては、ちょっと教えていただきたいのですが、PRについて広報などは出されたのでしょうか。こういう材を作りましたよ、といったような。見学会の案内も含めて。
佐々木委員	見学会はみつめてだったか経済の伝書鳩だかに掲載されていました。それを見て私も申込みしましたので。
石川委員	大々的に宣伝する段階ではないということですか。
佐々木委員	そうですね、今だとPRしてしまうと生産が追いつかない状況になりますので。
石川委員	せっかくいいものを作ったので、PRが足りないのかなと思いました。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
森久保計画担当主査	今後積極的なPRに力を入れてはどうかというご意見ですね。
佐々木委員	はい、徐々に段階的にということだとは思いますが。いいもので、町民の方にもっと利用してもらえるようになればいいなと思います。
小室政策主幹	釜が導入されて供給が追いつけば、もっともっと売り込んでいくという方向性ですよね。
石川委員	そうですね。先日、北海道の建築指導課から、道産木材の住宅をPRしてくれていますし、こちらからも北海道の公共施設に使用していただくよう持ちかけています。私も新たにインターネットサイトを立ち上げましたので、色々と開拓していきます。
佐々木委員	いいですね。これで価格が安くなればもっともっと売れるのではないかなと思います。
石川委員	販売については、新しい業者の方からも興味を示していただいている状況。
横山会長	このFSC認証材を活用して住宅を建てる時には、町から補助がありました。このコアドライ材でもありますか。
森久保計画担当主査	はい、町産材を活用した住宅を建てる場合、立米当たり4万円という補助を行ってしまっていて、今回このコアドライ技術が出来ましたので、要綱を改正して、コアドライ材には立米当たり6万円の補助を行うようにしました。町としても、このコアドライ普及のためにバックアップする形を取っています。
田村委員	コアドライ技術というのは、美幌町独自のものなのですか。
石川委員	いえ、コアドライ技術は北海道の森林総合研究所が開発したものです。道内で当地域含めて3カ所。本格的に出荷しているのは栗山ドライウッドという会社です。そこは75%を本州に向けて出荷し、道内で活用しているのは25%程だそうです。大手の住宅メーカーとタイアップしています。
森久保計画担当主査	私が北海道の林務にいたときに、このコアドライ技術が完成しまして、ちょうど林産試験場が研究発表で普及に努めているところでした。その第1号が栗山ドライウッドで、美幌町が2番目になります。その次に、十勝の方で取り組み始めたと聞きました。栗山ドライウッドは、大阪の業者と提携してしまっていて、主に関西方面に出荷されているとのことでした。
田村委員	森林組合で製材して販売とは珍しいものではないですかね。
石川委員	こうしたものは、使いたいときに使えない状況だと、なかなか普及につながらない。どこに行けばコアドライが入手できるのかとなってしまう。そのため、北海道や栗山ドライウッドと連携して、道産材をどう普及、活用させていこうかという話し合いをさせていただいている。美幌の場合は町内から始めて、近い将来はFSC認証材に限らず、一般材でもコアドライ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
石川委員	イ製品を作って、流通に乗せていきたいと思っている。
森久保計画担当主査	美幌町森林組合のように、町内で加工して製材して販売というのは、全道の森林組合と比べてあまりない方だと思います。他の森林組合では、そこまでの体力がない森林組合が多い中で、美幌町森林組合はそこを行った上でさらに拡大していこうとしていますので、凄いなと感じます。
横山会長	山岸工務店や高橋工務店に対しても直接供給しているのでしょうか。
石川委員	そこが町との協議によります。今までは、町で製材（ラミナ）したものを下川町の工場に出して貼り合わせて、それを戻してもらった。今度はプレカットのために斜里町の佐藤木材に出して、工務店に入れるといった流れでした。それが今度は森林組合で建材に出来て、大工によっては独自にカットできたり、プレカットが必要な場合はやはり斜里に出します。その辺の流通をどうしようかというところです。
横山会長	はい、ありがとうございます。評価については、先ほど佐々木委員から①でいいのではないかと一言を賜りましたが、そのような形で構いませんか。 (一同賛同) では、効果があったという評価にさせていただきます。意見につきましては、こちらも佐々木委員がおっしゃいましたように、積極的なPRを行うことといたしております。他にご意見ございますか。
村田委員	今後の方針のところで、「町内の新築住宅へ普及させ…」とありますが、まだ流通体制が整っていないかもしれませんが、「町内」と限定しなくてもいいのかなと思います。
横山会長	事業内容の中には「町内外」へと書いてありますからね。石川委員もおっしゃっていましたが、道と協議して、道が建てる公共施設に使用するよう呼びかけているとのことですので、村田委員のご意見と合わせれば、町内外問わずという形の方がいいかなと思います。東京オリンピックもそうですし、木材を活用するときはこのコアドライでとなれば、販路も広がるのかなと。
小室政策主幹	先ほどもありましたが、地域内経済循環だけでなく、販路開拓によって外貨獲得につながりますので、供給の問題はありますが、将来的に「町内外」という形で意見として捉えたいと思います。
横山会長	他、意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。では、議事の2番目は終了させていただきます。3番目の今後についてお願いします。
小室政策主幹	はい、資料のスケジュールをご覧ください。これについては、年間の大まかなスケジュールを記載しています。もう既にこの第1回目の推進委員会の日程が遅れていて申し訳ありませんが、今後役場内のプロジェクトチーム及び本部会議を開いて、事業効果検証を進め、それをもって皆さまの推進委員会にかけていく予定となっています。2回目の会議ですが、この第

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	1期の創生推進委員の任期が、7月12日で満了となりますので、それ以降の早い段階で、7月中には開催したいと考えています。 そこで皆さまにお願いがあるのですが、先ほども申し上げましたが、第1期創生推進委員の任期が、この7月12日で満了となります。この創生推進委員会は、少なくとも、総合戦略の計画期間である平成31年度まで継続することとなっていますので、新たに第2期の創生推進委員の方々を委嘱する必要があります。ここにいる皆さまには、是非引き続き委員になっていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。各団体から推薦して出ている方々につきましては、この6月中に依頼書を出させていただきます。その返事には、皆さまのお名前が書かれていることを期待していますので、よろしくお願いします。水島さんにつきましては、一般公募枠で出ていると思いますが、引き続きお願いしたいと思っていますので、団体推薦の方と違って、また応募という形を取っていただきますが、よろしくお願いしますと思います。 これまで約2年間、皆さまと共にこの総合戦略を推進して参りましたので、引き続きのご支援をお願いします。
横山会長	今後のスケジュール等含めまして、何か皆さまかご意見ございますか。 公募については、水島さんの他に当初もう1人女性委員がおりまして、事情により辞めてしまいましたが、そうした補充を考えているのでしょうか。
小室政策主幹	一般公募枠を2名設けておりますので、その2名の方を加えて10名体制を進めたいと思っています。
横山会長	女性ですか。
小室政策主幹	現在既に応募がありまして、水島さん含めて3名の応募となります。まだ公募期間はありますので、どうなるかというところですが、美幌町の附属機関の規定により、女性の枠を30%程度設けるように推進されています。今後どなかが出てくるかわかりませんが、その応募してきた方の中から選定したいと思います。
横山会長	はい、ありがとうございます。ではその他についてお願いします。
小室政策主幹	その前に一つ。佐々木委員は女満別において同じような推進委員を務められていたということで、女満別での会議において何か良かったことやどのようなことが話し合われていたのか、少しお話しいただけますか。
佐々木委員	雰囲気的にはこのこと同じですね。メンバーはもうちょっと多かったと思います。15人くらいで、会長はJAの方でした。地域創生ということで、大空町としては空港をどうしていくか、どう活用してまちづくりをしているかがメインとなっていました。色々な意見が出ていましたが、自分が出した中では、町民だったら札幌往復便を無料にしたらどうかと提案しましたら、それがふるさと納税の商品になったことがあります。それから、人を呼び込む、いかにして町に住んでもらうかということが検討されました。道の駅の下側の地区に、東藻琴に6区画、女満別に12区画を分譲しまして、そこを一般に売り出しまして、地元の企業を使って住宅を建てれば補助金最大200万円を出します、さらに固定資産税も5年間軽減しま

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐々木委員	すといったようなまちづくりを進めまして、6割7割は埋まったと思います。そのようなことをしておりました。あと、子育てとかの部分については、どこの町でも同じかなと思います。自治体によって異なるのかどうか分かりませんが、大空町は合併10年目ということも含めてありましたので、予算含めて使い切ったという印象がありました。ただ、どこの市町村も同じなのは、人口が減っていく中で、高齢者と若い人たちを町の中でどう暮らしてもらうか、担当者の方は頭を悩ませていますね。このような感じですよ。
小室政策主幹	はい、ありがとうございます。それでは、今後については、先ほどもお話ししましたが、7月8月で2回の効果検証を行って参りたいと考えていますのでよろしくお願いします。
横山会長	以上で本日予定されていた議事は全て終了しました。7月にはまた改めてこのメンバーで顔を合わせたいと思いますので、よろしくお願いします。本日はお疲れ様でした。 了